

JEAS データガバナンス*タスクフォース 合宿報告

目的:AI(画像と文字)をご理解いただくためのデータガバナンス、ガイドライン、告知とチェックリスト作り

日時:11月28日(木)10:30~11月29日(金)16:00

参加者:木村 一輝、稲本 義範、上野 順子、野口 子、黒岩 佳加、土田 美那、摺田 祐司、中西 陽一郎、山本 健二、林 俊一、豊田 孝志、三明 和也、森川 真次、井上 謙二、青柳 秀夫、脇 弘之

以上16名(順不同、敬称略)

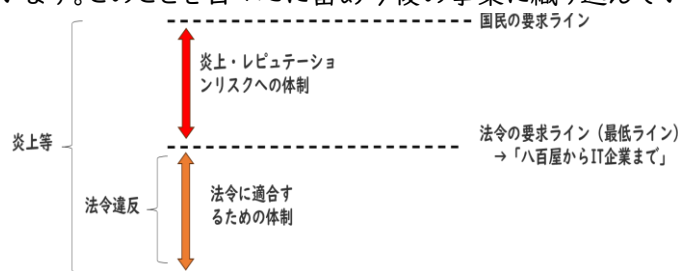
日時:11月28日(木)10:30~29日(金)16:00 会場:レクトーレ熱海小嵐



AI 推進のためのデータガバナンス 熱海小嵐宣言 抜粋(案)

国際的な情勢として、先進国だけでなく、あらゆる国で、画像や文字の AI 利用が防犯防災の中で進んでおります。同じく、省人化や効率化が小売業や介護や工事の現場などで不可欠な要素になっております。それを永続的に推進していくためには、データガバナンスを構築しなければなりません。

データガバナンスの重要性については、様々な説明がなされますが、1つの説明として、以下のような説明があります。つまり、法令に適合するための体制だけでなく、国民の要求ラインやニーズに合わせて、炎上・レピュテーションリスクへの体制作りが求められています。このことを日々心に留め今後の事業に織り込んでいただきますようお願いいたします。



☆皆様との双方向でのコミュニケーションのために(案)※

お客様のニーズに応じて、映像データや連携する各種データを活用し、現状及び今後の課題解決のサポートを行い、目指す姿である安心・安全な社会作りへの貢献を実現するためには、データの適切な取扱いが必要不可欠です。映像や文字データが不適切に取り扱われるようなことがあれば、個人のプライバシーへの影響はもとより、監視社会への懸念、差別や偏見の助長、ひいては防犯民主主義などの私たちの社会の根幹を成す価値観への脅威にも繋がりがねません。データの適切な取扱いを確保するためには、プラットフォームを活用いただくお客様等の皆様にも、考え方を共有していただくことが不可欠です。そのため、私たちは、地域社会を含むステークホルダーの皆様との双方向でのコミュニケーションに努め、協力して AI 推進のためのデータガバナンスの実現を目指します。個人の皆様の目線に立って、継続的な対話を行う等、透明性を高める仕組みを整えるよう努めます。

※この内容は主に、秀逸な「セーフティー データ憲章」をベースにして作成されています。

https://bucket.safie.link/pdf/csr/advisoryboard/safie_data_charter_JP.pdf

【御礼】A 班、B 班、C 班の各報告書は理事会にて精査し、後日発表いたします。ご参加いただいた企業、ご支援いただいた皆様に深く御礼を申し上げます。

JEAS データガバナンスフロー

